

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	藤田 稔子	職名	准教授	学位	修士 (看護学) (神戸市看護大学 2005 年)
----	-------	----	-----	----	---------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
小児看護	感染症 (感染症対策、予防接種) 小児ぜんそく

研究課題
<p>【現在取り組んでいる研究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が身体や健康に関心を持つきっかけとなる「絵本」に着目し、発達段階にみた「内容」「(身体や症状を表す)ことば」について調査する。→現在の国内で入手可能な「うんち」に関する絵本の調べ中。 ・医療保育→現在、北九州地区で活躍している医療保育専門士等と医療保育における 5 領域の活用等を研究課題として取り組んでいます。 <p>【継続していきたい研究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に関して、乳幼児の身近なものへの一般細菌の付着状況を実験的に調査し、その結果、安全かつ簡易的に実施可能な消毒方法を考察する。 ・慢性疾患、特に気管支喘息を持った幼児が、どのように疾患と向き合い、自己管理をしていくのか、また、スムーズな子ども自身が可能な自己管理方法について考察する。

担当授業科目
こども学基礎演習 (保育科 1 年 前期・後期) こども学特別演習 (保育科 2 年 前期・後期) 初年次セミナー (保育科 1 年 前期) 保育内容「健康」(保育科 1 年 前期) こどもの保健演習 (保育科 2 年 前期) こどもの保健 (保育科 1 年 後期) こどもの保健Ⅱ (保育科 2 年 後期) こども音楽療育実習 (保育科 2 年 後期) 在宅保育 (保育科 2 年 後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【こども学特別演習】</p> <p>本学地域連携室への地域貢献活動の申請を行っての正式な活動「フレイ隊」として月 1 回のペースで地域の子育て支援を実践してきました。本年度は、ゼミ生が 4 名と少人数ながら、お互い支え合いながら全プログラムを果たしました。年度当初は、ありきたりな企画案を示してきますが、少しずつ創意工夫できるようアドバイスをすることで、徐々に発想豊かな内容を作り上げることができていました。また、外部の方との打ち合わせ、会計管理等、自分達でおこなうことにより、社会性や計画性等様々な要素を身につけたように感じます。</p> <p>また、大学祭においては、1 年生ゼミが例年のように関与できなかった関係で、前日までの準備は 4 名のみでおこないました。卒業生達の評価も今まで最も高い出来栄となり、自信につながったようでした。学生達が伸び伸びと、自分たちの発想が形となるように支援することを本年度は心がけました。</p>
<p>授業科目名【こどもの保健】</p> <p>本年度からカリキュラムが改正され、今まで講義 4 単位でおこなっていた内容を講義 2 単位でおこなえるよう内容を厳選し授業を組み立てました。90 分、15 回という限られた中で、保育現場で困らないレベルの知識の獲得、子ども達に不利益が生じないレベルを担保することに重点を置き、授業内でできないが、ぜひ保育職としておさえて欲しいことは自己学習できるように配布プリントに示すように心がけました。</p>

その結果、毎年課しているノートの8割強は、自己学習の成果が示されていました。今までの学生と比較して十分な内容ができたとは言いがたいですが、しかし、興味関心を高め、現場に出た時の道しるべは与えられたのではないかと思います。そのための「興味を高める」ことを中心におこないました。

授業科目名【こどもの保健Ⅱ】

昨年度「こどもの保健Ⅰ」に際して学生達からの苦情等が多く、授業を開始するにあたって、内容および授業の展開の変更を考え準備を進めました。しかし、現在保育現場で活躍している卒業生達からの「一部の学生の意見だけ取り上げるのはおかしい」「質を下げるな」等の意見をもらい、まず、1回目の授業において、本科目の意義等を説明し、学生全員にアンケートをとりました。その結果、ほんの少数のみが不満を持っており、大半の学生が卒業生と同等の授業を求めていることが分かりました。配布物の工夫、ノート作成を絶対条件にしない、内容を少し減らす、等の工夫をして授業を行いました。最終的には、不満を持っていた学生も授業に真摯に向き合ってくれ、全員単位取得が可能となりました。

授業科目名【こども音楽療育実習】

本年度は、時間割等の関係上、特別支援学校でのクリスマスコンサートが出来ず、代わりに、地域貢献活動および女学院100周年プレイベントも兼ねた、地域の皆様を招待しての演奏会を開催しました。井堀のコンサートでは、教員が前面に立って動くことで学生の学びになって欲しいと思い活動しました。演奏会に向けて日に日に完成度をあげ、素晴らしい演奏会になりました。しかし、その後の保育園のクリスマスコンサートでは、学生主体にシフトした結果、学生間の不調和が起り、コンサート自体は成功しましたが、学生の達成感は低い状況で終わってしまいました。このフォローは、個人面談にておこないましたが、課題が残った状況です。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本小児保健学会		2000年4月～現在に至る
日本小児看護学会		2005年4月～現在に至る
日本保育所保健協会		2009年4月～現在に至る
日本学校保健学会		2009年4月～現在に至る
日本医療保育学会		2010年4月～現在に至る
日本環境感染学会		2010年4月～現在に至る

2019年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 子どもの保健と安全	共	2020.3.31	教育情報出版	8章2節「子どもの歯の健康状態」 9章3節「子どもと呼吸器の病気」 9章5節「子どもと血液の病気」を執筆
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				教育研究業績 総数 (2020.3.31現在) 著書 4 (単0 共4) 学術論文 3 (単1 共2) 学会発表 12 (単2 共10) その他 8 (単0 共8)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
だいすき にっぽん 活動助成	芳賀文化財団	藤田稔子 青木るみ子	120,000 円

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
北九州市開発審査会	委員	2013年11月～現在に至る
北九州市保育園連盟	外部理事	2019年4月～現在に至る
北九州市保育士会	講師	2019年7月19日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

- ・委員会
 - 倫理委員会 副委員長 2010年4月1日～現在に至る
 - 就職委員会 副委員長 2016年4月1日～現在に至る
 - FD委員会 2018年4月1日～現在に至る
- ・S.D.C顧問
- ・アドバイザー関連
 - 保育科1年ゼミ アドバイザー
 - 保育科2年ゼミ アドバイザー
- ・学生募集関連
 - 併設校、高大連携講座 2019年6月5日
 - 門司大翔館高等学校 進路ガイダンス 2019年6月11日
- ・附属シオン山幼稚園
 - 運動会救護担当 2019年10月14日
- ・地域貢献
 - 井堀市民センター「音楽会」の開催 2019年11月30日
 - 「だいすき にっぽん」 2019年5月12日
 - 8月20日
 - 12月21日
- ・卒業生支援
 - 学会発表支援（2019.6.22-23開催「日本医療保育学会」）のため所属病院より協力依頼を受ける
北九州地区医療保育士との共同研究および勉強会の支援